

テーマ：地下水浄化でのファインバブル技術の応用



アオコ発生時池とオゾンUFB処理後の池

左：オゾン発生装置 右：UFB発生装置

【 社会的な課題 】

修景池として利用される水域でのアオコや藻類発生は、悪臭や景観悪化に結びつく。また、生物の斃死なども生じることから課題となる。

【 取組み内容 】

貯水量の多い修景池などでは、直接浄化手法としてオゾン、紫外線UV、ろ過などの浄化手法があるが、循環する池水の浄化はできても池内の環境改善には繋がらないことから、PSAオゾンナイザーとUFB発生装置で低濃度オゾンによる有機物分解と高濃度酸素UFB水の供給を同時処理する。

【 ファインバブルの作用・原理 】

ファインバブル (UFB) を生成する際のキャビテーション技術を利用してオゾンの溶解性を高め、ラジカル反応を促進し、オゾン+UFBにて従来比の1/2程度のオゾン注入濃度で分解することを可能としている。

【 使用機器 】

UFB発生装置はキャビテーション方式（非加圧）を選定している。 フォームジェット

【 各種効果 】

- 低濃度オゾンによる藻類の酸化分解 景観改善（透視度向上）
- 底層の貧酸素改善 生物生息環境の保全
- 悪臭などの発生抑制

■企業名称 株式会社ワイビーエム FB事業開発部 <https://www.ybm.jp/>

■お問合せ先 担当者 宇川岳史 tukawa@ybm.jp